

137
50
153

別圖

萬延二辛酉曆日



伊勢度會郡山田

中北外記

萬延二年かのとら乃天保壬寅元曆日値年凡三百五十四日

大さいとうりの方 は方ニおくひて方よ

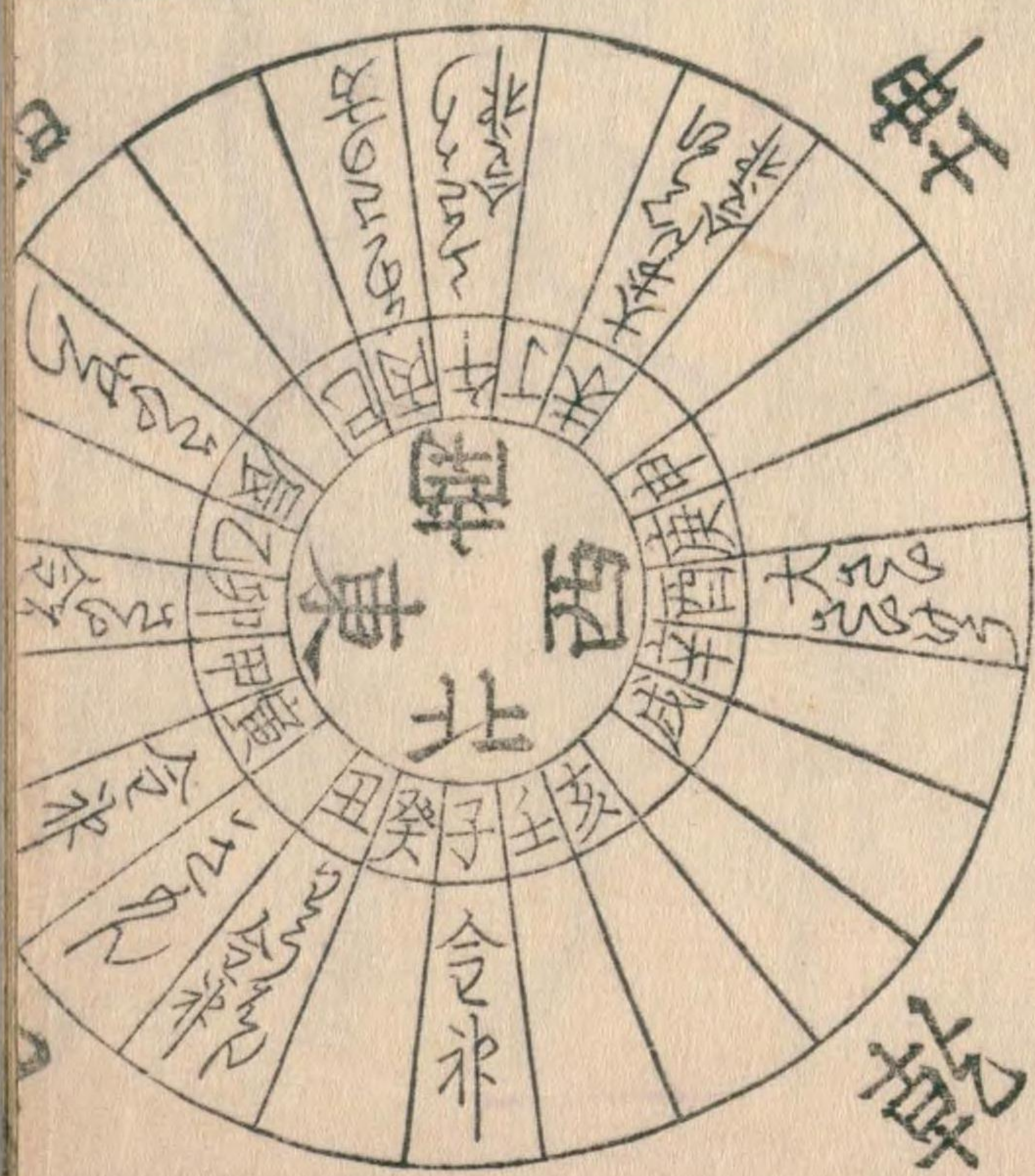
大老きりくんむまの方 ひぬのとらしまて

大おんむらの方 は方ニおくひて

こしとくあいの方 ねしとら

こむまのむ方 うむまのむ

金神



明治 44.11.29 購求

さひえらうの方 抄くひてつらこま

さひえらうの方 抄くひてつらこま

さひえらうの方 抄くひてつらこま

さひえらうの方 抄くひてつらこま

さひえらうの方 抄くひてつらこま

さひえらうの方 抄くひてつらこま

さひえらうの方 抄くひてつらこま

さひえらうの方 抄くひてつらこま

さひえらうの方 抄くひてつらこま

さひえらうの方 抄くひてつらこま

さひえらうの方 抄くひてつらこま

さひえらうの方 抄くひてつらこま

さひえらうの方 抄くひてつらこま

さひえらうの方 抄くひてつらこま

さひえらうの方 抄くひてつらこま

さひえらうの方 抄くひてつらこま

さひえらうの方 抄くひてつらこま

土公 春ハク夏 秋ハク冬

正月小 二月大 三月大

四月小 五月大 六月小

七月大 八月小 九月大

十月小 十一月小 十二月大

正月小 建庚寅 牛宿值月 星宿日 曜值朔日

一日 かのえとらう

二日 かのえとらう

三日 かのえとらう

四日 かのえとらう

五日 かのえとらう

六日 かのえとらう

七日 かのえとらう

八日 かのえとらう

九日 かのえとらう

十日 かのえとらう

十一日 かのえとらう

十二日 かのえとらう

十三日 かのえとらう

十四日 かのえとらう

十五日 かのえとらう

二月大 建辛卯 女宿 張月

改日 二月廿四夜四時二分六日の考日

雨水 正月 中夜四時九分日の考日

大くさば火

大くさば火 大くさば火

大くさば火 大くさば火

大くさば火 大くさば火

大くさば火 大くさば火

大くさば火 大くさば火

大くさば火 大くさば火

大くさば火 大くさば火

大くさば火 大くさば火

大くさば火 大くさば火

大くさば火 大くさば火

大くさば火 大くさば火

大くさば火 大くさば火

大くさば火 大くさば火

大くさば火 大くさば火

大くさば火 大くさば火

廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日

大暑者六月申朝五時二分日の暑日全五十八刻余夜四十一刻半余六十六刻半夜三十八刻
初七日 初八日 初九日 初十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日

七月大 建丙申 奎宿 尾火より
立秋七月七日夜四時八分日の暑日全五十六刻半夜四十三刻半余六十二刻半夜三十八刻
初七日 初八日 初九日 初十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日

八月小 建丁酉 婁宿 斗木より
處暑七月申中登九時九分日の暑日全五十四刻半夜四十五刻半余六十九刻半夜四十一刻余
初七日 初八日 初九日 初十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日

八月小 建丁酉 婁宿 斗木より
初七日 初八日 初九日 初十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日



白露 八月廿九 今曉八時二分 入日の 卯日 全多五十二刻 余夜半七刻半 余空多五十七刻半 夜四十二刻半

秋分 八月廿八 中朝四時八分 入日の 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

九月 廿七 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

九月 廿六 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

九月 廿五 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

九月 廿四 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

九月 廿三 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

九月 廿二 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

九月 廿一 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

九月 廿 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

九月 十九 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

九月 十八 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

九月 十七 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

九月 十六 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

九月 十五 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

九月 十四 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

九月 十三 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

九月 十二 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

九月 十一 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

九月 十 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

九月 九 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

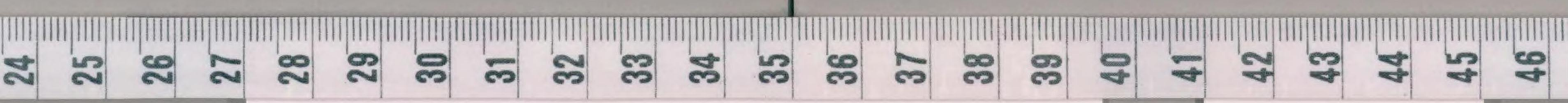
九月 八 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

九月 七 卯日 全多五十一刻 夜五十一刻 余空多五十九刻 夜四十九刻

九月 大 建 戌 戌 胃 宿 牛 金 よろ

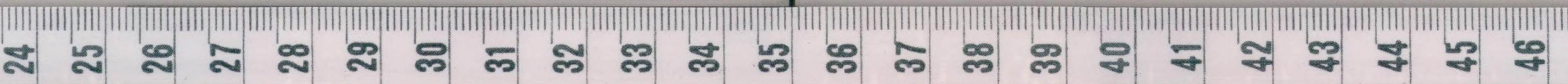
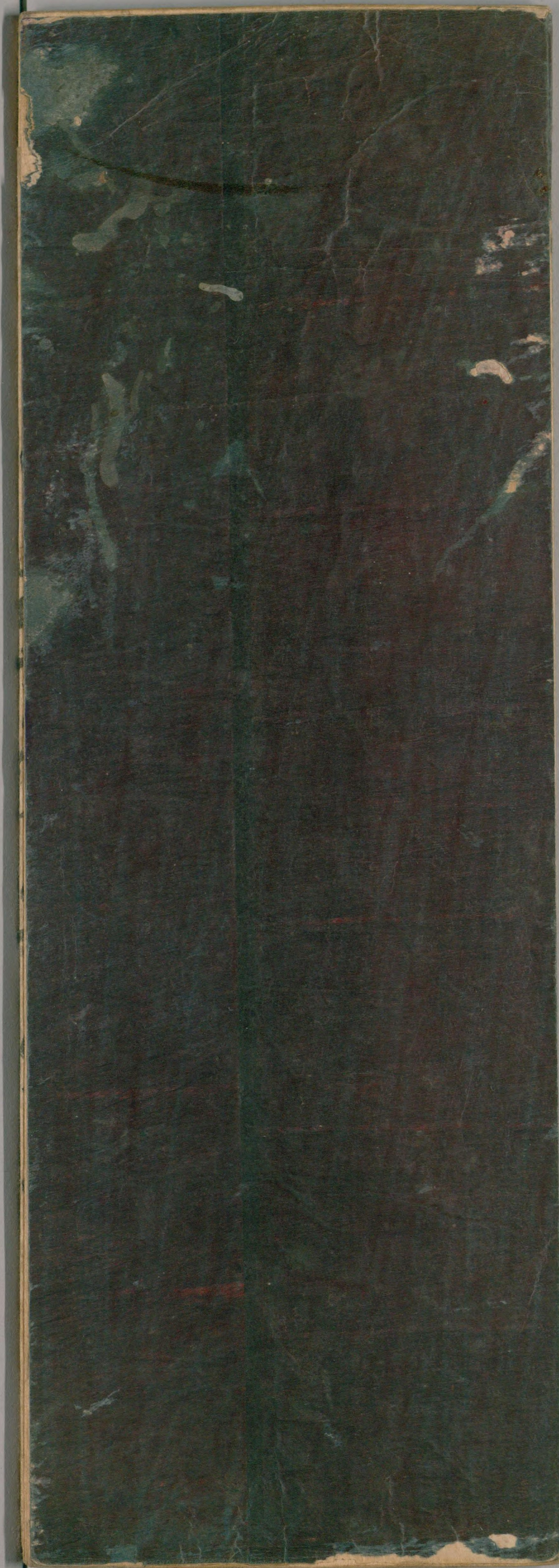
十月 小 建 己 亥 昴 宿 虚 日 よろ

十月 廿九 暮六時七分 入日の 卯日 全多四十三刻 半 夜五十六刻 半 余空多四十八刻 半 余夜五十二刻 半



<p>小寒十二月廿四夜四時二日の歳日 念多四十一刻半夜五十九刻半 念多四十六刻夜五十四刻</p>	<p>十二月大 建辛丑 此角宿 室火より</p>	<p>月帯そく二分</p>	<p>十二月小 建庚子 畢宿 危月より</p>	<p>大雪十月廿七朝四時六分六日の歳日 念多四十一刻半夜五十九刻半 念多四十六刻夜五十四刻</p>	<p>小雪十月廿七時三分日の歳日 念多四十一刻半夜五十八刻余 念多四十七刻夜五十三刻</p>
<p>九 八 七 六 五 四 三 二 一</p>	<p>九 八 七 六 五 四 三 二 一</p>	<p>九 八 七 六 五 四 三 二 一</p>	<p>九 八 七 六 五 四 三 二 一</p>	<p>九 八 七 六 五 四 三 二 一</p>	<p>九 八 七 六 五 四 三 二 一</p>
<p>〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇</p>	<p>〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇</p>	<p>〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇</p>	<p>〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇</p>	<p>〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇</p>	<p>〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇</p>
<p>火土水</p>	<p>火土水</p>	<p>火土水</p>	<p>火土水</p>	<p>火土水</p>	<p>火土水</p>
<p>天 天 上</p>					
<p>夕七時六分五分より 暮六時三分右の方におき東國をへ歩をかけそ</p>					

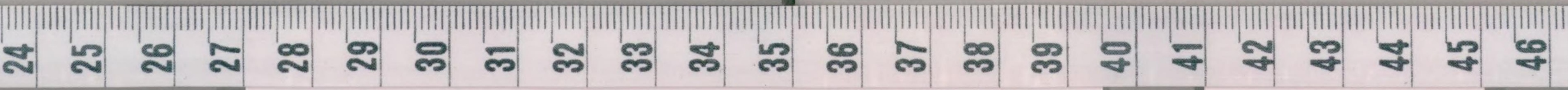
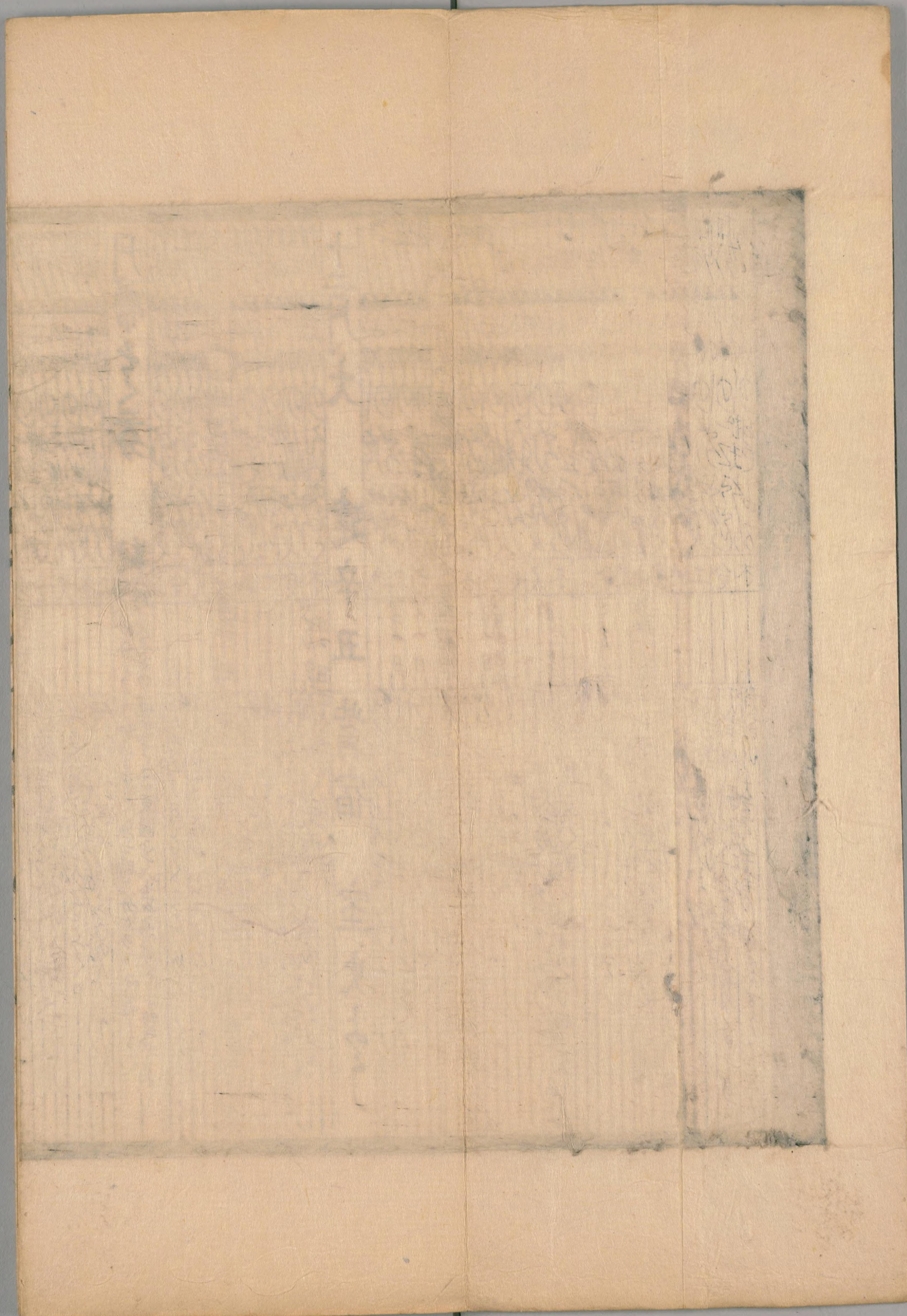


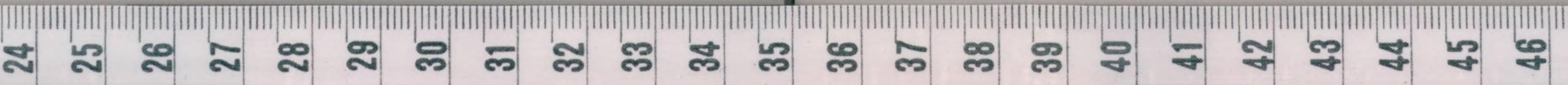
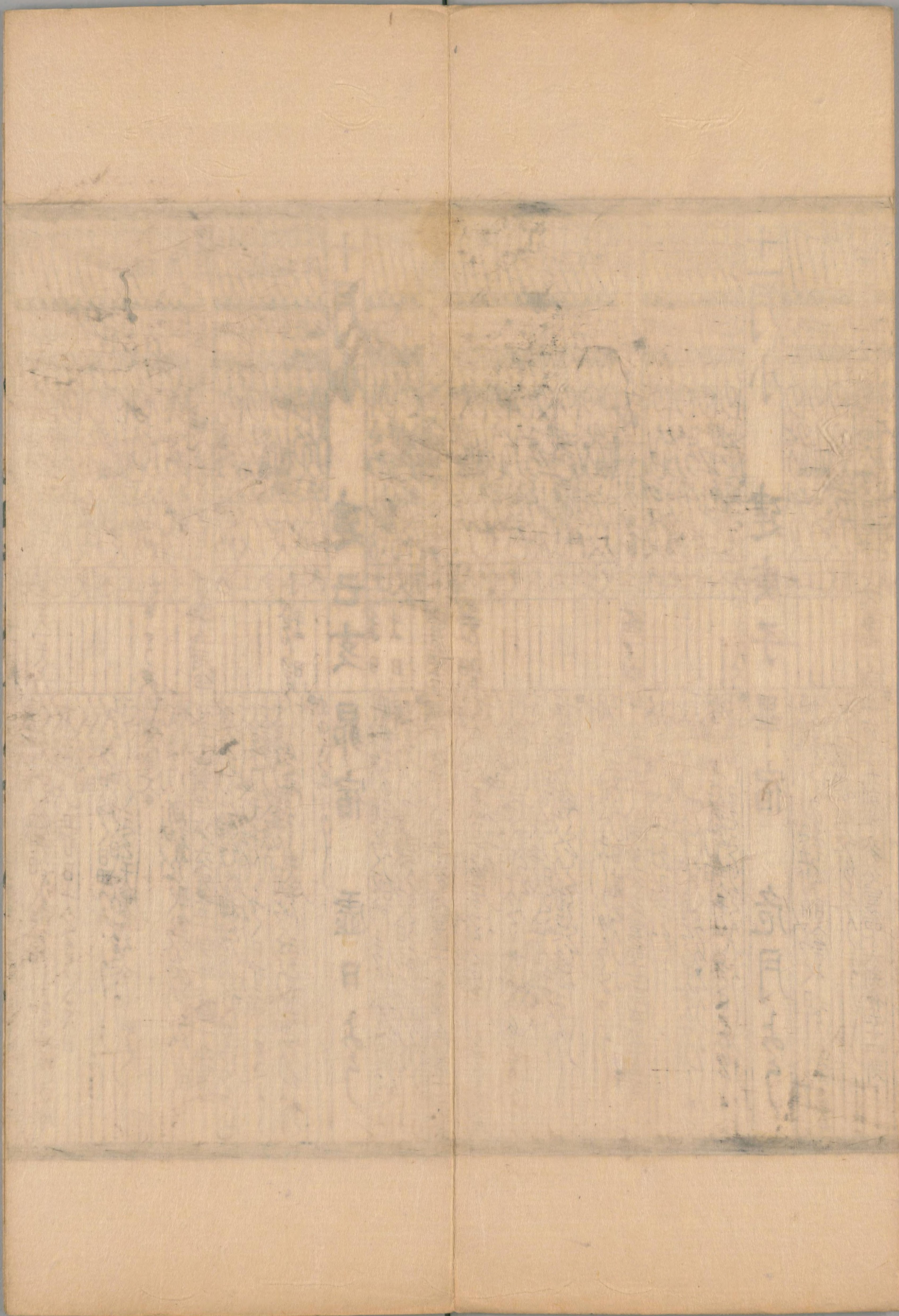


国立国会図書館

タイトル『古暦』 請求記号 寄別3-6-2-1

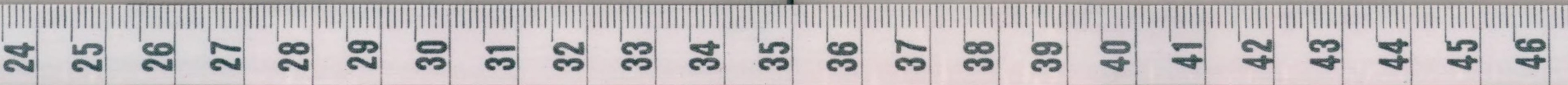
ガラス使用

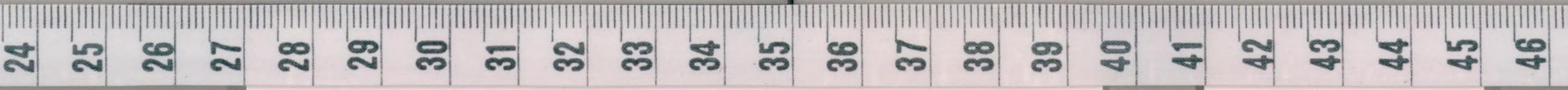
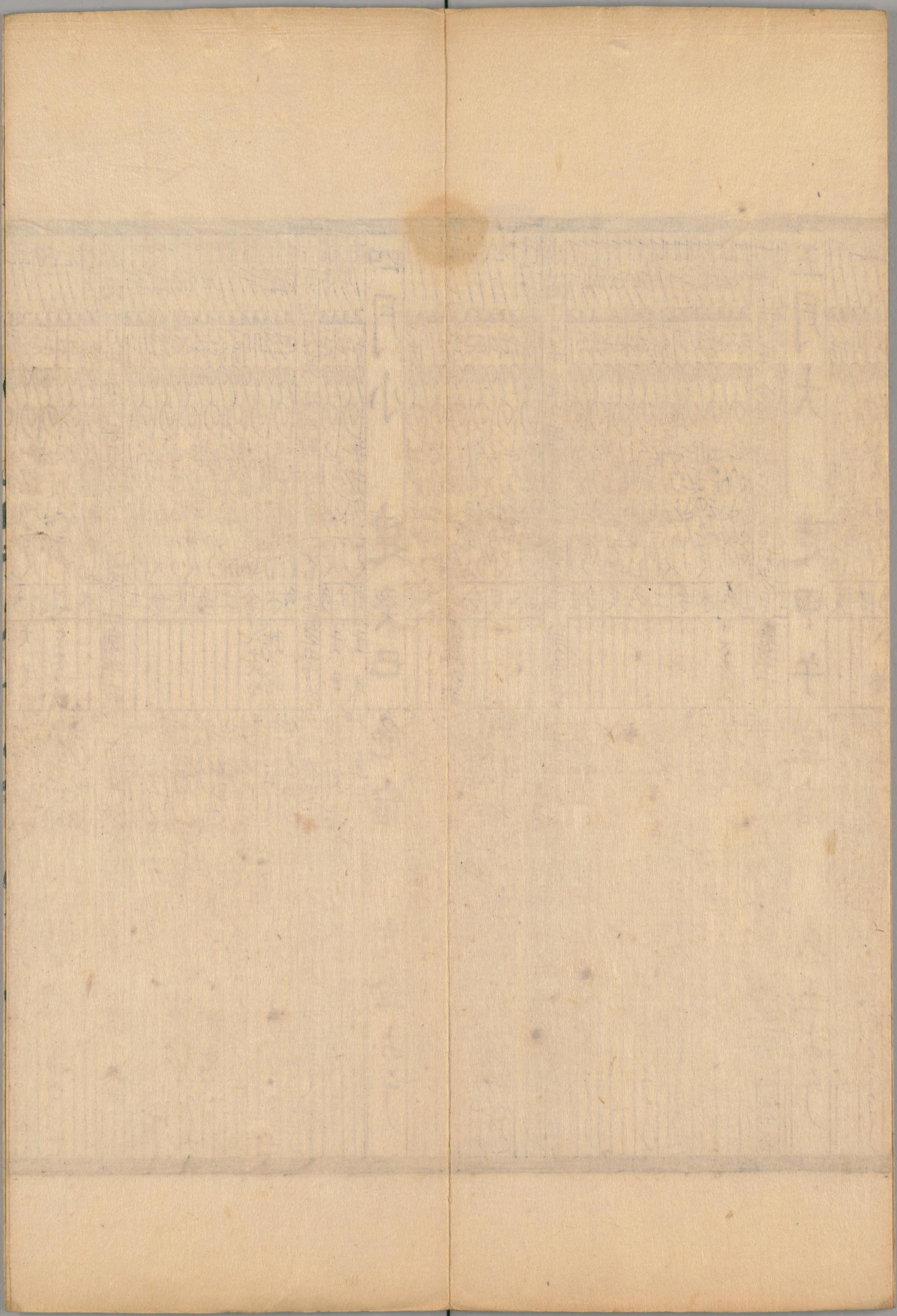




Handwritten text on aged paper, likely a calendar or ledger. The text is arranged in vertical columns and is mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side. Some faint characters are visible, including what appears to be '人' (person) and '月' (month).







国立国会図書館 タイトル『古暦』 請求記号 寄別3-6-2-1

ガラス使用

つらつらのの玉をみるてふらん
 といふはたつとこのかみ
 からこのまゝをいせしむのまじり
 ぐまのとりとめしむのまじり
 ぬれぬの方ふまへせず本行
 ちりぬの方よりト人
 ありさうの音くらむ
 きの方とらん
 みるのまじり
 まちるのまじり
 うけたるまじり
 土月
 新

